

CP-2023

基礎能力Ⅱ

試験問題

注意事項

1. 問題は **30 題(30 ページ)**で、解答時間は **1 時間 30 分**です。
2. この問題集は、本試験種目(基礎能力試験Ⅰ部及びⅡ部)終了後に持ち帰りができます。
3. 基礎能力試験Ⅱ部の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできません。退室時には、基礎能力Ⅰ及び基礎能力Ⅱの問題集を回収し、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
4. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分 教 養	受験番号	氏 名
--------	--------------	------	-----

指示があるまで中を開いてはいけません。

【No. 1】 我が国の電力や環境問題に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 我が国における 2020 年度の発電電力量の電源構成は、火力発電(天然ガス、石炭、石油等)が約 5 割、再生可能エネルギーが約 4 割、原子力発電が約 1 割となっている。政府が 2021 年に閣議決定した「エネルギー基本計画」における 2030 年度の電源構成の目標は、再生可能エネルギーが約 7 割、火力発電が約 2 割、原子力発電が約 1 割であり、新たに水素・アンモニアによる発電を 1 % 程度見込んでいる。
2. 2022 年 3 月に発生した福島県沖の地震により複数の火力発電所が停止したことなどから電力需給が厳しくなったことを受けて、東日本大震災発生時以来 2 度目の「電力需給ひっ迫警報」が発令された。同警報は電力供給の予備率が 8 % を下回る見込みになった場合に発令され、国の機関、地方公共団体や大企業に節電の義務が生じる。また、2023 年 1 月には例年になく厳しい寒さの影響により同警報が再度発令された。
3. CO₂ 排出量を抑える技術として、排出された CO₂ を回収して地中深くに貯留する「CCUS」や、貯留した CO₂ を化学製品の製造等に利用する「CCS」が注目されており、我が国においては、2022 年末時点で民間企業による大規模 CCUS の事業が開始されている。また、「CCUS 長期ロードマップ検討会中間とりまとめ」において、2050 年の CCUS の年間 CO₂ 貯留量を現在の年間 CO₂ 排出量の約半分に相当する 5 ～ 6 千万トンを目安にするとの方針が示された。
4. 総務省が発表した 2022 年 7 月の消費者物価指数によると、電気代は前年同月比で約 80 % 増加した。政府は、同年夏季の電力需給のひっ迫を緩和するとともに、電気料金の負担軽減を図るため、「節電プログラム促進事業」を実施した。同事業では、マイナンバーカードを有する者が住民票のある市区町村に申込みを行うことで、2022 年 7 月から 9 月までの節電量に応じて最大 20,000 円相当のポイントが付与された。
5. 政府が 2023 年 2 月に閣議決定した「GX(グリーントランスフォーメーション)実現に向けた基本方針」では、原子力発電に関し、新たな安全メカニズムを組み込んだ次世代革新炉の開発・建設に取り組むほか、既存の原子力発電所を可能な限り活用するため、運転期間 40 年、延長期間 20 年の制限を設けた上で、原子力規制委員会による厳格な安全審査を前提として、一定の停止期間に限り計算から除き、追加的な延長を認めることとされた。

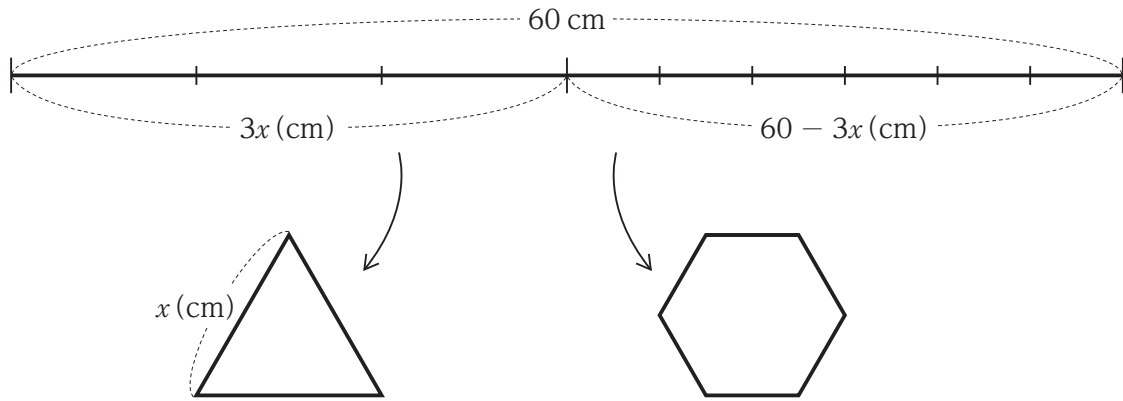
【No. 2】 我が国の社会を取り巻く状況に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 近年、我が国の合計特殊出生率は低下傾向にあり、2021年の値は1.30であった。出産・育児等による労働者の離職を防ぎ、男女共に仕事と育児等を両立できるようにするため、同年、育児・介護休業法が改正され、男性の育児休業の取得を促すための枠組みが創設された。また、2023年4月に内閣府の外局としてこども家庭庁が設置され、こども政策担当大臣は、関係行政機関の長に対し、こども政策の改善を求めることができる勧告権を持つこととなった。
2. 2023年3月末時点での新型コロナウイルス感染症の国内感染者数は、累計3,000万人を超えた。また、サル痘(エムポックス)の国内感染者数は、同時点で累計50万人を超えている。新型コロナウイルス感染症やサル痘の感染拡大を受け、2020年より初診からオンライン診療を行うことが認められたため、2021年4月末時点において、電話や情報通信機器を用いた診療を実施できるとして登録した医療機関数は、全体の60%を上回っている。
3. 2021年度の児童虐待の相談対応件数は過去最多となり、子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化している。2019年の児童虐待防止法の改正では、親権者が児童のしつけに際して体罰を加えないことが努力義務化され、2022年の児童福祉法の改正では、児童相談所が虐待を受けた子どもを親から引き離す一時保護の際に、検察官が必要性を判断する制度が導入された。児童虐待には、重い病気になっても病院に連れて行かないなどのネグレクトも含まれる。
4. ライフステージの変化に応じた生き方に対応するため、社会人の学び直しを促進するための環境整備が行われている。2022年度の骨太の方針では、企業が従業員に対して、仕事を続けながら大学等で学び直す機会を提供する「国際バカロレア教育」の推進が掲げられた。また、2022年の博物館法改正では、趣味やボランティア活動などの高齢期の生きがいを得るため、個人が社会教育施設で学ぶ「リスクリング」の推進を、博物館が取り組む事業として新たに規定した。
5. 2021年の改正文化財保護法により無形文化財の登録制度が新設され、同年、「伝統的酒造り」、「書道」、「アイヌの伝統文化」が登録された。伝統的酒造りは、造り手の後継者不足のため清酒の生産量が減少し、清酒の輸出量・輸出金額共に2018年以降5年連続で減少している。また、アイヌの伝統文化は、明治時代以降の北海道開発によって失われつつあったが、1950年代にアイヌ民族を「先住民族」と明記するアイヌ新法が制定され、伝統文化の保護が図られてきた。

【No. 3】 ロシアによるウクライナ侵攻を含む国際情勢等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. ウクライナの国土面積は我が国の約4倍であり、プレーリーと呼ばれる肥沃な土壤に恵まれており、同国における2019年の小麦の生産量及び輸出量は、共に世界で最も多かった。しかし、2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻に伴い、小麦の生産量及び輸出量は大幅に減少した。ウクライナでは、1960年代にチョルノービリ(チェルノブイリ)原子力発電所事故が発生したが、同国における2021年の総発電電力量に占める原子力発電の割合は、約2割であった。
2. 国連安全保障理事会は、常任理事国5か国と非常任理事国15か国から成り、我が国が非常任理事国になった回数は全加盟国の中でドイツ(東西ドイツを含む。)に次いで多い。2022年2月、同理事会は、ロシアによるウクライナ侵攻に関しロシアを非難する決議案について、ロシア及び中国の拒否権発動により採択できなかった。一方、同年3月、国連総会は、緊急特別会合を開催し、ロシアを非難する決議はロシア及び中国を除く全ての国の賛成多数により可決された。
3. 国家安全保障会議(日本版NSC)は、我が国の安全保障に関する重要事項を審議する機関として内閣に設置されており、その事務を恒常的にサポートするための国家安全保障局が内閣官房に設置されている。同会議は、2022年3月に、防弾チョッキやヘルメットなどの防衛装備品をウクライナへ提供する方針を決定した。
4. 日本、米国、カナダ、オーストラリア、インドから成る枠組みであるQUAD(クアッド)の首脳会合が2022年5月にオンラインで開催され、ウクライナ情勢がインド太平洋地域に及ぼす影響を含む地域情勢等に関し意見交換が行われた。また、これらの国から成る新たな経済圏構想であるIPEF(インド太平洋経済枠組み)の発足が同時に表明され、今後、参加国の増加に向けてインド太平洋地域の各国へ働きかけを行っていくこととなった。
5. 2022年8月、岸田首相は、ニューヨークで開催された核兵器禁止条約運用検討会議に我が国の首相として初めて出席し、一般討論演説を行った。同会議では、ロシア、中国、インドの反対により、成果文書案の採択には至らなかった。核兵器禁止条約は1970年に発効し、核兵器を有する米国、ロシア、英国、フランス、中国以外の国の核兵器の保有等を禁止している。

【No. 4】 図のように、長さ 60 cm の針金を二つに切り、その各々を折り曲げて正三角形と正六角形をつくる。ここで、それぞれの一辺の長さは 1 cm 以上とする。正三角形の一辺の長さを x (cm) とするとき、正三角形の面積と正六角形の面積の和が最小及び最大となる x の組合せとして正しいのはどれか。



	面積の和が最小となる x	面積の和が最大となる x
1.	1	12
2.	12	1
3.	12	15
4.	18	1
5.	18	12

【No. 5】 2039年の年始(1月1日)に1,000万円が必要となるため、2024年から2038年の15年間、毎年銀行に同じ金額の積立定期預金を行う。このとき、最低限必要な毎年の預入額は次のうちではどれか。

ただし、積立定期預金の預け入れは毎年1回年始に行い、年利率は4%で利息は翌年の年始に付与される。年利率は15年間変動しないものとし、税金や手数料は考慮せず、1年毎の複利で計算するものとする。また、 $1.04^{15} = 1.80$ とする。

1. 47万円
2. 49万円
3. 50万円
4. 51万円
5. 67万円

【No. 6】 重力のはたらきに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 大気中の雨滴は、重力を受けて落下を始める。風の影響を無視できる場合、雨滴の落下速度が増すにつれて空気による抵抗力が大きくなり、やがて重力と空気による抵抗力が釣り合い、落下速度は一定になる。このような落下速度の変化は、落下する物体の形や大きさ、質量によって異なる。しかし、空気抵抗のはたらかない真空中の場合、同じ高さからの落下であれば、形や大きさ、質量によらず落下速度は同じように変化する。
2. 海に浮かぶ氷山には、重力のほかに浮力がはたらいており、これらが釣り合うことで海に浮かんでいる。氷山にはたらく浮力の大きさは、氷山が押しつけた海水が受けるはずであった重力の大きさに等しくなるため、海水中の氷山の表面積と海水の密度に比例する。よって、同じ氷山でも、海水の塩分濃度が高いほど、海面上に現れる氷山の体積は小さくなる。
3. 地球上の物体は、大気にはたらく重力による圧力である気圧(大気圧)を受けている。台風などの熱帯低気圧は中心気圧が周辺より低いため、海上では、中心部分の空気が海面を押し付け、その周囲の空気が海面を吸い上げるように作用することで、海面が上昇する。これに風などの影響が加わり、高潮が発生する。
4. 地球上の物体が受ける重力は、物体が地球から受ける万有引力と地球の自転によって受ける遠心力との合力である。地球の自転による遠心力は、緯度の高い場所ほど、また、同じ緯度でも標高が低いほど、大きくなる。よって、同じ物体でも、緯度が高く、標高が低いほど、物体が受ける重力は僅かに小さくなる。
5. 表面の粗い床に置かれた積み木に水平力を加え、その力を徐々に大きくしたとき、力がある大きさを超えると積み木が滑り出す。滑り出す直前の積み木にはたらく摩擦力の大きさは、積み木が受ける重力の大きさと床との接触面積の大きさによって決まる。また、滑っている積み木にはたらく摩擦力の大きさは、積み木が受ける重力の大きさと積み木の速度によって決まり、一般に、滑り出す直前の摩擦力よりも大きい。

【No. 7】 波に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 振動が次々と伝わっていく現象を波といい、その振動を伝える物質を媒質という。媒質の振動する方向が波の進む向きに対して垂直な波を縦波といい、波の進む向きに対して平行な波を横波という。振動の伝わり方は媒質によって異なり、例えば音波は、空気中では横波であるが、水中では縦波である。また、水中を伝わる音の速さは、空気中に比べて4～5倍になる。
2. 反対の向きに同じ速さで進む、波長及び振幅の等しい正弦波が重なると、重ね合わせの原理により、できた波は定常波(定在波)となり、その腹は元の波の2倍の周波数で振動する。ギターなどの弦楽器では、弦の両端が節となる定常波が発生しているため、弦を弾く速度を2倍にすると、発生する基本音の周波数は4倍になる。
3. 振動する物体(振動体)を自由に振動させたときの振動を固有振動といい、そのときの振動数を固有振動数という。振動体にその固有振動数と同じ振動数で力を加えると、小さな力でも大きく振動する。このような現象を共振(共鳴)という。ビルや橋などの建築物にも固有振動数があり、その固有振動数が地震などの振動数と一致すると大きな被害を受けやすい。
4. 光は、電磁波と呼ばれる波の一種であり、電子を媒質としている。太陽光は、地球の電離層に近づくと、ローレンツ力によりあらゆる方向に向かって進むが、この現象を光の散乱という。このとき、波長の長い赤色の光よりも、波長の短い青色の光の方が作用するローレンツ力が大きいので散乱されやすく、昼間はその青色の光が目に入るため、空全体が青く見える。
5. 太陽光は、いろいろな方向に振動している横波の集まりであり、このような光を自然光という。一方で、白熱電球の出す光のように、1方向だけに振動する光のことを偏光という。自然光のうち特定の振動方向の光だけを透過するはたらきを持つものを偏光板といい、太陽光の大部分を遮断する一方で、電灯が放出する偏光を透過するため、サングラスに使われている。

【No. 8】 化学物質に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 次亜塩素酸ナトリウムは、色素などを分解する塩素系漂白剤の主成分であり、この漂白剤は食器の洗浄などに利用されている。また、次亜塩素酸ナトリウムの水溶液は、ノロウイルスなどの消毒・殺菌剤にも利用されている。しかし、この水溶液は、塩酸を主成分とする酸性の洗浄剤と混ぜると、有毒な塩素ガスが発生するため、注意が必要である。
2. セッケンは、植物油を水酸化カリウムで分解して得られ、その構造中に親水基と疎水基を持つ。衣服の洗浄において、セッケンは、親水基で繊維上の油汚れを取り囲み、疎水基を外側にして油汚れを繊維から水中に分散させる。しかし、汽水域の水などナトリウムイオンを多く含む水では、沈殿が生じて洗浄力が低下する。
3. 水酸化カルシウムは、生石灰と呼ばれ、水と反応すると熱を発生する。このため、乾燥剤、道路の凍結防止剤、さらし粉や建築材料(しっくい)の原料などに利用されている。一方、酸化カルシウムは、消石灰と呼ばれ、加熱すると分解して酸素を発生する。このため、発泡入浴剤、ベーキングパウダーや胃腸薬の原料などに利用されている。
4. ポリエチレン(PE)は、エチレン分子が縮合重合することによって合成された高分子化合物であり、熱可塑性樹脂で、ポリ袋やタイヤゴムの原料などに利用されている。一方、ポリエチレンテレフタレート(PET)は、エチレン分子がケイ素と付加重合することによって合成された高分子化合物であり、熱硬化性樹脂で、食品容器や水道管の原料などに利用されている。
5. プロパンは、沸点が約 0°C で、気体は可燃性があり、完全燃焼すると、 2 mol のプロパンと 3 mol の酸素から、 2 mol の二酸化炭素と 4 mol の水ができる。プロパンは、天然ガスの主成分であり、液化天然ガス(LNG)の形で効率よく輸送することができる。天然ガスは、石炭や石油に比べて燃焼時の二酸化炭素発生量が少ないため、火力発電の燃料として利用が拡大している。

【No. 9】 酸と塩基に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 青色リトマス紙を赤色に変えるような、酸性を示す物質を酸、赤色リトマス紙を青色に変えるような、塩基性を持つ物質を塩基といい、水に溶かすといずれも水分子を分解して、水素イオンと水酸化物イオンを生じる。一つの分子に含まれる水素原子の数を価数といい、塩酸は1価の酸、硝酸は2価の酸というように、強酸である酸の方が価数が大きい。
2. 電離度とは、水に溶かした酸や塩基のような溶質のうち、電離しなかったものに対する電離したものの比率をいう。同じ物質の溶液でも、電離度は濃度や温度によって変化し、一般に、濃度が大きい方が、溶けている酸又は塩基が多いため、電離度が大きく、また、温度が低い方が、水素イオン及び水酸化物イオンが安定するため、電離度が大きい。
3. 水溶液の酸性・塩基性の強さを表す数値にpH(水素イオン指数)があり、水素イオン濃度を用いて定義される。25℃のとき、酸性水溶液ではpHが7より小さく、また、一般に、水溶液の水素イオン濃度が10倍大きくなるとpHは1だけ、100倍大きくなると2だけ小さくなる。身近な物質では、レモン果汁のpHは7より小さく、重曹の水溶液のpHは7より大きい。
4. 酸と塩基が互いの性質を打ち消し合うことを中和といい、中和によって水素イオンと水酸化物イオンから水素と酸素が生じる。酸の物質質量とpHを掛けたものと、塩基の物質質量とpHを掛けたものが等しいとき、過不足なく中和し、この点を中和点という。水素イオン濃度が未知の物質は、中和滴定という実験操作で濃度を算出することができる。
5. 酸の陰イオンと塩基の陽イオンが結びついた化合物を塩といい、強酸の塩化水素と弱塩基の水酸化ナトリウムから生じる塩化ナトリウムは酸性塩、弱酸の酢酸と強塩基のアンモニウムから生じる酢酸アンモニウムは塩基性塩である。酸性塩の水溶液は酸性、塩基性塩の水溶液は塩基性を示し、この性質を遊離という。

【No. 10】 免疫に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 免疫において中心的な役割を担う白血球は、胸腺にある造血幹細胞からつくられる。白血球のうち好中球は、胸腺から骨髄に移動して成熟した後、血管や神経を通じて全身に移動し、異物が侵入して炎症が起こった場所に集まって異物を排除する。
2. 異物が皮膚や気管などにおける生体防御機構をすり抜けて体内に侵入すると、マクロファージなどの食細胞は、異物を自らの細胞に取り込み細胞内にある酵素を用いて消化・分解する。この生体防御機構は自然免疫の一つであり、食作用と呼ばれる。
3. 病原体などに感染した細胞は、扁平の形状で核を持たない白血球であるナチュラルキラー(NK)細胞に攻撃されて排除される。NK細胞は、自己と非自己を認識する仕組みを持つため、自己の細胞が異常増殖したがん細胞は攻撃しない。
4. 体液性免疫において、活性化された赤血球は免疫グロブリンを産生する。免疫グロブリンは、X字型の構造を持つタンパク質であり、その構造中の可変部のアミノ酸配列の違いによって多様な抗原に結合することができる。
5. 異物の侵入によってキラーT細胞やB細胞が活性化されるが、異物が排除された後に記憶細胞として体内に残るのはキラーT細胞である。そのため、二次応答では、一次応答と比べて産生される抗体の量は変わらないが、キラーT細胞による細胞性免疫が速やかに働く。

【No. 11】 細胞や遺伝子に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 17世紀に、フックがレンズを組み合わせた顕微鏡で観察した玉ねぎの表皮に、多数の小部屋とその小部屋の中に存在する核を確認したことが、生きた細胞の発見とされている。その後、19世紀に入り、顕微鏡が改良されたことにより、細胞小器官の構造や機能が明らかになり、不要な物質の分解に関わるゴルジ体や脂質の合成に関係するリボソームが発見された。
2. 酸素を用いて有機物を分解する嫌気性細菌が原核生物の細胞内に共生してミトコンドリアの起源となり、また、光合成を行うミドリムシが原核生物の細胞内に共生して葉緑体の起源となったと考えられている。このような、細菌やミドリムシなどの真核生物が原核生物の細胞内に入り込んでミトコンドリアや葉緑体が生じたという考えを細胞内共生説といい、マーグリスらが提唱した。
3. シャルガフの規則は、DNAのヌクレオチドに含まれるA、T、G、Cの塩基数の割合は生物種によって異なるが、AとG、TとCの塩基数のそれぞれの比は、全ての生物で、どちらも3:2となるというものである。ハーシーとチェイスは、シャルガフの規則やX線回折像などをもとに、DNAが二重らせん構造であることを突き止めた。
4. グリフィスは、肺炎双球菌を用いて、加熱殺菌したS型菌をマウスに注射しても肺炎を発病しないが、加熱殺菌したS型菌と生きたR型菌と一緒にマウスに注射すると、マウスは発病し、体内からは生きたS型菌が検出されることを発見した。この結果は、加熱殺菌したS型菌に含まれる物質が生きたR型菌に移り、R型菌の形質を変化させたことを示しており、こうした現象を形質転換という。
5. ガードンは、アフリカツメガエルの未受精卵に赤外線照射して核の働きを一時的に停止させ、別の個体の体細胞の核と融合させることで、クローン個体をつくり出した。核の働きを一時的に停止させた卵に体細胞の核を融合させた胚をクローン胚といい、クローン胚の実験から、体細胞は分化する過程で不要な一部の遺伝子を消滅させることが示された。

【No. 12】 火山に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 火山は、プレートの拡大境界(海嶺)と収束境界(沈み込み帯)付近に限って分布する。前者の火山は、海嶺から約 1,000 km 離れた場所から現れ始め、火山分布の海嶺側の限界線を火山フロント(火山前線)と呼ぶ。後者の火山は、ホットスポットとも呼ばれ、プレートの収束境界である海溝付近に存在し、我が国に存在する火山もホットスポットに該当する。
2. 我が国では、かつて、活火山は、「おおむね一万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」と定義されていたが、千年以上噴火していない火山はもはや噴火しないことが分かってきたため、現在では、「過去およそ千年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」と定義されている。我が国の活火山の数は現在約 50 である。
3. マグマが固まってできた岩石を火成岩といい、火成岩には、地表付近で急速に冷えてできた火山岩と、地下深くでゆっくり冷えてできた深成岩がある。火山岩は、細粒の斑晶と粗粒の石基から成る斑状組織を形成し、閃緑岩や斑れい岩が含まれる。深成岩は、粗粒で粒径のそろった結晶から成る等粒状組織を形成し、安山岩や流紋岩が含まれる。
4. 火山は、その形状によって、溶岩台地、成層火山及び溶岩ドームに分けられる。溶岩台地は、二酸化ケイ素含量が多く粘性が小さいマグマでよくみられ、昭和新山が該当する。溶岩ドームは、二酸化ケイ素含量が少なく粘性が大きいマグマでよくみられ、ハワイ島のマウナロア山が該当する。成層火山は、上記の火山の中間程度の性質を持ち、富士山が該当する。
5. 地下で形成されたマグマは、周囲の岩石よりも密度が小さいので浮力によって上昇する。その後、マグマの密度と周囲の岩石の密度が釣り合って上昇を停止し、マグマだまりがつくられる。マグマには水や二酸化炭素などの揮発性成分も含まれており、これらが発泡することで、マグマや火山ガスが地表に噴出し、噴火が起こる。

【No. 13】 宗教や宗派に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. ユダヤ教は、多神教であったエジプトで信仰されていた律法の神である「ヤハウェ」を唯一神とする宗派をモーセが創設したことから始まった。彼は、神は民族に関わりなく、「十戒」などの律法を遵守する民のみを選んで救済するという教義(選民思想)を唱え、信者と共にカナーン(パレスチナ地方)に移住した。その後、ユダヤ教は、律法を遵守できない病人等を救済するため、十戒を唱えさえすればよいとするパリサイ派によって律法の簡素化が進められた。
2. 仏教は、万物の存在は相互に依存することなく他のものと切り離されて成立しており(縁起)、そのためあらゆるものの姿は独立して変化しこの世の全てが苦しみの原因になるなどとしている(四法印)。そして、その苦しみを克服するためには苦しむ運命への諦め(四諦)を戒め、自我を貫き通す強い意志(我執)をもって八つの苦行(八正道)を行えば、苦しみを超越した境地(涅槃)に至ることができるとする。
3. キリスト教は、世俗主義に陥ったユダヤ教を批判したイエスによって成立した。彼は、神への愛(エロス)を体現する者のみが神からの愛(アガペー)を獲得できるとし、律法を厳格に遵守することこそが神への愛だとして、律法を遵守しない人々を「罪人」と呼んで糾弾した。そして、律法を遵守するものどうしを「隣人」と呼び、隣人に対しては敬意と愛情(隣人愛)を持つべきとして、信者に罪人や異教徒に対抗して結束することを求めている。
4. イスラームは、「アッラー」を唯一神とする一神教であり、ユダヤ教とキリスト教を同じ神から啓示を受けた先行宗教とする。また、ムハンマドが神から受けた啓示を後にまとめたものが『クルアーン(コーラン)』である。アッラー、天使、聖典(啓典)、モーセやイエスらも含めた預言者、来世、天命の存在を信じる信仰上の義務である六信と、信仰告白、1日5回の礼拝、貧者の救済のための喜捨、断食、メッカへの巡礼を行う行為上の義務である五行が、信者の務めとされている。
5. 我が国に伝来した仏教では、空海が、高野山金剛峯寺を拠点に、阿弥陀如来を称える念仏(真言)を唱え座禅を組む修行を続けることで救済を受けられる(即身成仏)とする真言宗を広めた。これに対し、最澄は、比叡山延暦寺を拠点に、法華経によって全ての人が仏の境地に達することができる(法華一乗思想)とする天台宗を広めた。真言宗からは念仏を重視する浄土宗や座禅を重視する曹洞宗が派生し、天台宗からは法華経を重視する日蓮宗が派生した。

【No. 14】 我が国の思想家に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 林羅山は、天地自然に上下高低の理があるように、人間社会にも上下尊卑の別があるとして、君臣関係に限っては敬をもって心を保ち、この上下の身分秩序に従って行動することが道徳の根本であるとした。一方、度会家行は、朱子学の身分秩序を批判し、従来の神道に混在していた仏教や儒学を排除し、古道と神道とを結び付けた垂加神道を唱えた。
2. 中江藤樹は、孝を天地自然の根源的な働きで事物や事象を貫いている道理であるとし、儒学の目的は、個人の道徳ではなく、孝に基づいて民衆の生活を安定させる経世済民にあるとした。晩年には陽明学に共鳴し、自然と調和して生きる無為自然の考えから、全ての人が農耕に従事し、あらゆる差別がない自然世への復帰を説いた。
3. 山鹿素行は、朱子学の説く理が抽象的であるとし、周公や孔子の説法を『論語』などから直接学び取る古義学を提唱した。また、武士道を儒学によって理論化し、『玉勝間』において「武士道といふは死ぬことと見付けたり」と述べ、恥を知ること、名を重んじること、主君への献身などを説いた。
4. 佐久間象山は、アヘン戦争で中国が英国に敗れたことに衝撃を受け、「東洋道徳、西洋芸術(技術)」を唱え、東洋の伝統的精神の上に、西洋の科学技術を積極的に吸収し、国防力を高めるべきだと主張した。佐久間象山に洋学を学んだ吉田松陰は、藩ごとに分裂した幕藩体制をこえて、天皇を中心に民衆が結集する一君万民論を唱えた。
5. 幸徳秋水は、キリスト教の人道主義に基づいて社会主義を主張し、『平民新聞』を発刊した。また、資本主義社会の矛盾を指摘し、反戦平和とマルクス主義を唱えたが、大逆事件で処刑された。その後、事件に反発した徳富蘇峰、片山潜らによって社会主義の活動は盛期を迎え、日本初の社会主義政党である社会民主党が結成された。

【No. 15】 次は、俳諧に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

俳諧は、奈良時代以来の伝統を持つ和歌や、室町時代に最盛期を迎えた連歌の流れを受けて誕生した。俳諧とは、もともと という意味である。江戸時代の初め頃から、町人や農民を含む広い階層の人々に流行し、松永貞徳を中心とする貞門俳諧や、西山宗因を中心とする談林俳諧などが広まった。次の俳諧を詠んだ松尾芭蕉は、このような背景を受けて登場し、蕉風と呼ばれる独自の境地を開いた。

五月雨のふり残してや光堂
夏草や兵どもが夢の跡

この俳諧は、 を訪れた芭蕉によって詠まれたものであり、『奥の細道』に収められている。『奥の細道』は、芭蕉が門人曾良を伴って江戸を立ち、東北・北陸を経て、大垣に至るまでの旅の記である。

芭蕉は、「夏草や兵どもが夢の跡」の句の前に「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」と書いている。これは、 の漢詩を強く意識しており、『奥の細道』は、和歌や連歌からの影響のみならず、中国の詩文の影響も受けている。

俳諧の連歌の発句が独立したものが俳句であり、五・七・五の短詩型が一般に俳句と呼ばれるようになったのは、明治時代以降である。俳句は、その革新と万葉調和歌の復興を進めた が用い始めたことにより定着したとされる。

- | A | B | C | D |
|-------|----|-----|-------|
| 1. 滑稽 | 平泉 | 杜甫 | 正岡子規 |
| 2. 滑稽 | 平泉 | 司馬遷 | 与謝野晶子 |
| 3. 滑稽 | 日光 | 司馬遷 | 正岡子規 |
| 4. 情趣 | 平泉 | 杜甫 | 与謝野晶子 |
| 5. 情趣 | 日光 | 司馬遷 | 正岡子規 |

【No. 16】 我が国の文化の歴史に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 弥生文化は、水稲農耕を基礎とし、青銅や鉄などを用いた金属器、稲の穂摘み用具である石包丁、木材を加工するための骨角器などを伴う文化である。弥生時代後期に、遠隔地との交易のための丸木舟が生み出され、中国・朝鮮半島との交流も盛んに行われた。交流を通して、朝鮮半島から硬質で灰色の土師器の製作技術が伝えられ、弥生土器やその系譜を引く須恵器と共に用いられるようになった。
2. 白鳳文化は、6世紀末から7世紀後半にかけて、蘇我氏や王族により広められた仏教中心の文化である。この時代に、厩戸王(聖徳太子)により法隆寺が、天武天皇により大官大寺が建立された。また、持統天皇の時代に律令制度による政治の仕組みが整えられる中、貴族や官人には漢文の教養が必要とされ、現存最古の漢詩集である『懷風藻』や、諸国の産物や伝承を漢文で記録した地誌である『大鏡』が編集された。
3. 天平文化は、唐の文化の影響を強く受けた国際色豊かな文化であり、聖武朝の天平時代を中心とした8世紀の奈良時代に発達した。宮廷の歌人や貴族だけでなく、民衆の歌も取り入れられた『万葉集』が編集され、また、仏教の鎮護国家の思想を受けて国分寺建立などの事業も進められた。天平文化を代表する建築には、唐招提寺金堂・講堂や、校倉造の正倉院宝庫などがある。
4. 国風文化は、10世紀から11世紀半ば頃までの、大陸文化と日本文化とを融合させた優美で繊細な文化であり、『竹取物語』や『今昔物語集』など仮名文字を用いた物語文学が生まれた。また、10世紀後半に、仏と神は本来同一であるとする神仏習合思想が現れ、この思想に関係した美術・建築作品が数多くつくられた。運慶・快慶によってつくられた力強く写実的な仏像や、藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂はその代表例である。
5. 桃山文化は、織豊政権の時代の文化であり、姫路城など戦時に防塞としての役割を果たす山城を中心とした城郭建築が特徴である。城郭内部のふすまや屏風には金地に青や緑の濃厚な色彩が用いられた濃絵が描かれ、狩野永徳による『唐獅子図屏風』や俵屋宗達による『風神雷神図屏風』などが残された。また、千利休によって佗茶が大成されると、陶器の需要の増加に伴い製陶技術が進歩し、色絵の技法を完成させた酒井田柿右衛門によって京焼が始められた。

【No. 17】 我が国の鎌倉時代から室町時代までに關する記述として最も妥當なのはどれか。

1. 中国を支配していた元は、我が國に朝貢を求めたが、鎌倉幕府がこれを拒否したため、元の軍勢が対馬・隱岐に襲來して両島を支配下に置いた。幕府は、元軍の本土襲來に備えて博多に鎮西探題を置き、警護を強化していたところ、再度元軍が襲來して九州に上陸したが、暴風雨に襲われて元軍は敗退した。この2度にわたる元軍の襲來を蒙古襲來(元寇)という。
2. 元軍の襲來により幕府の御家人たちは多大な犠牲を払ったが、幕府は彼らに十分な恩賞を与えることができなかった。幕府は、窮乏する御家人を救うため、半済令を發布して、所領に課される年貢を半分免除する政策を採った。御家人の中には武力に訴えて年貢の納入を拒否する、新補地頭と呼ばれる者も現れ、こうした動きはやがて全國に広まっていった。
3. 建武の新政の後、大覺寺統の南朝と持明院統の北朝の二つの朝廷が対立し、南北朝の動亂が始まった。足利尊氏が北朝の天皇から征夷大將軍に任ぜられ、室町幕府が開かれたが、3代將軍足利義満の時代に南北朝の合体が実現した。幕府の仕組みも義満の時代に整い、將軍を補佐する管領や、侍所の長官(所司)は、三管領・四職といわれた有力守護大名家から任命された。
4. 鎌倉時代後期以降、莊園や公領の内部に惣村(惣)といわれる自治的な村が生まれた。惣村は、村方三役と呼ばれる村役人によって運営され、その運営は御成敗式目に基づいて行われた。領主に納める年貢を惣村がひとまとめにして請け負う地下請も次第に広まり、これにより年貢の徴収が安定して領主の支配權が強化された。
5. 足利義満の死後から応仁の亂の頃にかけて、近畿地方を中心に土一揆が頻繁に発生するようになった。土一揆は、当初は困窮する商人が樂市・樂座を求めて蜂起したものであったが、その後、圧政を敷く支配者の追放を求めて蜂起するようになった。正長の土一揆では、蜂起した数万の商人がその後1世紀にわたって畿内の堺を支配した。

【No. 18】 冷戦前後のヨーロッパ諸国に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. ポーランドでは、1980年代初頭からホネカーを指導者として自主管理労働組合「連帯」が組織されたが、西側諸国の軍事介入をおそれた政府は「連帯」を非合法とした。しかし、ソ連にブレジネフが登場し、新ベオグラード宣言が出されると、「連帯」の活動は活発化し、1980年代末に合法化されると、その後実施された議会選挙で「連帯」は圧勝し、共産党支配は終焉を迎えた。
2. 1980年代のポーランドにおける民主化の動きは、チェコスロバキアやルーマニアなどの他の東欧諸国にも波及した。これらの国では市民組織が中核となり、「プラハの春」と呼ばれる一連の変革が進められた。他方、ハンガリーでは、反政府デモへの弾圧に反発した民衆が、独裁体制を続けるチャウシェスク政権を崩壊に追い込み、チャウシェスク大統領は処刑された。
3. 東ドイツでは、1980年代末に西側への脱出者が急増してフルシチョフが退陣し、ベルリンの壁が開放された。翌年、東ドイツで議会選挙が実施され、ドイツ統一を求める党派が勝利すると、西ドイツが東ドイツを吸収する形で統一ドイツが成立し、首都はベルリンに置かれた。さらに、1990年代初頭にマーストリヒト条約が締結され、これにより、東ヨーロッパ社会主義圏は消滅した。
4. ソ連では、ゴルバチョフの指導下でペレストロイカが推進され、共産党の指導に代わり大統領制が導入された。東欧における急速な民主化の影響により、バルト三国をはじめとした独立運動が始まり、連邦の維持を主張する保守派のクーデターが失敗すると、ソ連共産党は解散した。その後、ロシアやウクライナ、ベラルーシなどの11の共和国が独立国家共同体(CIS)を結成し、ソ連は解体した。
5. ユーゴスラビア連邦では、ソ連の解体により共産主義政党の影響力が低下し、1990年代初頭に連邦内のエストニアとスロベニアが独立を宣言すると、これをきっかけに内戦が始まった。その後、セルビアとモンテネグロも独立を宣言したため、内戦はセルビアのコソボ自治州にも広がり、民族間の武力衝突が発生したため、ワルシャワ条約機構や国際連合が介入する事態となった。

【No. 19】 19世紀以降の世界の諸地域における民族運動等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 第一次世界大戦中、英国は、植民地であるインドに対して、戦後の自治を約束し戦争への協力を求めたが、戦後も各州に名目的な自治しか与えず、同時に、ローラット法の制定などにより民族運動の弾圧を図った。これに対して、国民会議派の指導者ガンディーは、塩の専売法に反対する「塩の行進」など非暴力・不服従の運動を展開して対抗し、ムスリムが結成した全インド＝ムスリム連盟も反英闘争を行った。
2. 第一次世界大戦で敗れたオスマン帝国では、ムスタファ＝ケマルにより、トルコ民族主義から脱しムスリムの連帯を強化するためのタンジマートと呼ばれる改革が展開された。これにより、社会関係を律する基本となっていたイスラーム法を体系化したオスマン帝国初の憲法が発布されたが、これに反発し世俗化と近代化を目指そうとする青年将校らにより青年トルコ革命が起こり、オスマン帝国に代わるトルコ共和国の建国が宣言された。
3. 第一次世界大戦後、朝鮮の京城(現在のソウル)において、「独立万歳」をスローガンに掲げて市民が市中を行進する五・四運動が起こった。朝鮮総督府は、武力弾圧による早期鎮静化を図ったため、この運動が朝鮮全土に広がることはなかったが、これをきっかけに、日本語教育など文化面での民族同化政策を中心とした文化政治から、徹底した武断統治へと支配政策の重点を移した。
4. 19世紀末以降、フランスの委任統治領であったパレスチナでは、自分たちの国家の樹立を目指し移住してきたユダヤ人と先住のアラブ人との対立が続いていた。第二次世界大戦後、アラブ人がパレスチナにおけるイスラエルの建国を一方的に宣言して強行すると、ユダヤ人との対立は第1次中東戦争に発展し、ユダヤ人がこれに勝利してイスラエルを占領したため、敗れたアラブ人はパレスチナを追われ、多数の難民が発生した。
5. 第二次世界大戦後、アフリカでは、植民地の団結と協力の下、独立を目指すため、アフリカ統一機構(OAU)が結成され、1960年には植民地が次々に独立を果たし、「アフリカの年」と呼ばれた。また、1960年代に、アジア＝アフリカ会議が開催されると、アジアでも、冷戦下の東西陣営のいずれにも属さない第三勢力として、独立の気運が高まり、オランダから独立したインドネシアを始め、植民地の独立が相次いだ。

【No. 20】 世界の農業に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 地中海式農業は、地中海沿岸地域に代表される、耐乾性の強い樹木作物や小麦の栽培と、ヤギ・羊などの家畜の飼育を組み合わせた農業である。夏季の乾燥に耐えられるコルクガシやぶどうなどが栽培され、降水のある冬季には小麦が栽培される。米国のカリフォルニア州やチリ中部などでも地中海式農業がみられる。
2. 酪農は、牧草を栽培して乳牛を飼育し、生乳・バター・クリームなどの酪製品を生産する農業である。西ヨーロッパ沿岸やニュージーランドなど、乳牛の飼育や牧草の栽培に適した温暖で肥沃な土壌をもつ地域で主に行われている。広大な土地を必要とするため、古くから大都市のような消費地からは遠く離れた地域において、生乳とクリームの生産を中心として発達してきた。
3. 焼畑農業は、森林や草原に火を入れてその灰を肥料とし、陸稲・てんさい・ヤムイモなどを栽培する農業である。耕地を開拓する簡易な手法として、アフリカや東南アジアなどで行われている。焼畑の地力は衰えにくく、輪作などで地力を回復させずとも同じ耕地で数十年間は耕作が可能であることから、焼畑周辺では耕作者の定住化が進み、人口の増加につながっている。
4. 企業的穀物農業は、小麦などの穀物を大規模に栽培し、効率的に生産・販売を行う農業である。米国やオーストラリアなどで行われており、広大な農地で大型農業機械を使用するため、土地生産性は極めて高い。企業的穀物農業では、除草剤や病害虫に耐性がある遺伝子組換え作物を用いるフィードロット方式により、穀物の収量を飛躍的に増加させることに成功している。
5. 世界では、米、小麦、とうもろこしなどの穀物が主食として利用されているが、2020年現在、世界で最も生産量が多い穀物は、人口の多いアジア地域で主食となっている米である。同年の国別の米の生産量、輸出量、輸入量をみると、生産量が最も多い国はインド、輸出量が最も多い国は中国、輸入量が最も多い国はインドネシアである。

【No. 21】 都市・居住問題に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 欧米諸国においては、都心部の利便性が見直され、荒廃した都心部や旧市街地を再開発して高級化し、質の良い住環境の整備を進め、比較的裕福な人々が都市に流入するスプロール現象がみられる。一方、こうした現象により、地価や家賃などが上昇して、それまで居住していた低所得者が居住できなくなり、従来のコミュニティが失われるなどの社会問題が生じており、これをインナーシティ問題という。
2. 人口増加が著しい発展途上国において、より安定的な生活を求めて農村から都市へ人口が流入し、都市の内部や周辺に生活環境が劣悪なスラムが形成されることをジェントリフィケーションという。こうした地区の住民の中には、インフォーマルセクターと呼ばれる、密輸や麻薬取引などの違法・犯罪行為によって生計を立てる者もあり、社会問題となっている。
3. ヨーロッパの一部の都市においては、パークアンドライドにより、平日の朝夕を中心にオフィス街などが集まる都心部に向かう自動車交通量が増加し、慢性的な交通渋滞や大気汚染などの問題が発生するようになった。そのため、都心部から出る自動車に給付金を支給するロードプライシング制度を導入するなど、都心部における自動車交通量の減少への取組が進められている。
4. 国の政治・経済・文化などの諸機能が集中し、その国の人口第1位となっている都市のことを首位都市(プライメイトシティ)といい、メキシコシティ、バンコク、ロンドン、ジャカルタがその例である。標高の高い盆地に位置するメキシコシティにおいては、自動車などによる大気汚染が深刻化するとともに、市街地周辺部の傾斜地などにスラムが形成されるなど、都市環境の悪化が問題となっている。
5. 全人口のうち、都市に居住する人口の割合を都市人口比率といい、世界の都市人口比率は2020年現在で75%を上回っている。1980年以降の都市人口比率を地域別にみると、アジア及びアフリカの都市人口比率は増加しているものの、その増加率は北アメリカ及びヨーロッパの都市人口比率ほどの伸びはなく、両者の都市人口比率の差は拡大傾向にある。

【No. 22】 日本国憲法が保障する自由権に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 憲法の基本的人権の規定は、もともと公権力と国民との関係を規律するものと考えられていたが、現代社会においては大企業のような国家類似の社会的権力が個人の人権を侵害する事例も少なくない。入社試験の際に学生運動歴を隠していたとして、試用期間の終了直前に本採用を拒否された原告が、本採用拒否は思想・信条の自由を侵害するとしてその無効を求めた裁判において、最高裁判所は、基本的人権の規定は国と私人の関係のみならず私人相互の関係も直接規律すると判示した。
2. 信教の自由については、憲法上明文でこれを保障する規定はないが、特定の宗教団体に対する公金支出を禁止する憲法の規定の趣旨に照らして、思想・良心の自由に含まれていると解されている。愛媛県による玉申料などの公費支出について争われた裁判において、最高裁判所は、当該公費支出は、その目的が宗教的意義を持つとはいえず、また、特定宗教に対する援助の効果も限定的であるとして合憲と判示した。
3. 憲法は、基本的人権として人身の自由、精神の自由、経済の自由を保障しているが、自分の人権と、他人の人権や重要な公共の利益が衝突した場合の調整原理として「公共の福祉」がある。「公共の福祉」については、奴隸的拘束・苦役からの自由、思想・良心の自由、居住・移転・職業選択の自由、財産権の保障などを定めた憲法上の各規定において、自由権を制約する原理として明文で規定されている。
4. 憲法は、現行犯逮捕以外の逮捕の場合や搜索・押収の場合には裁判官の発する令状がなければならぬことについて規定し、令状主義の原則を定めている。また、ある時に適法であった行為を事後に制定された法律で処罰してはならないという遡及処罰の禁止や、一度判決が確定した事件については再び刑事上の責任を問うことを禁止する一事不再理などについても規定し、人身の自由を保障している。
5. 憲法は、法定手続の保障や黙秘権の保障などについて規定し、被疑者や被告人の人権が不当に侵害されないようにしている。2000年代には監獄法が廃止され、逮捕・勾留された被疑者は、法務省が管轄する拘置所に収監されることとなり、警察署内の留置場が代用されることはなくなった。また、有罪判決の確定後であっても、新たな事実が判明するなどした場合に裁判をやり直せる再審制度が設けられているが、2023年3月現在、死刑が確定した後、再審によって無罪になった例はない。

【No. 23】 内閣と行政に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 1980年代後半に行われた中央省庁再編により、それまでの1府22省庁が1府12省庁に再編された。この再編により、総理府や文化庁などが統合された内閣府が設置され、防衛庁は防衛省に昇格した。さらに、この再編を契機に、各府省には大臣のほかに副大臣及び政務次官が置かれることとなり、これらは「政務三役」と呼ばれている。
2. 日本国憲法において、内閣総理大臣は、国务大臣を任命・罷免する権限を有していることが規定されており、大日本帝国憲法においても同様の内容が規定されていた。また、内閣総理大臣は、衆議院議員の中から国会が指名し、天皇によって任命されることが日本国憲法において規定されている。
3. 日本国憲法において、国の収入支出の決算は、すべて毎年会計検査院が検査し、内閣は、次の年度に、その検査報告とともに決算を国会に提出しなければならないことが規定されている。会計検査院は、内閣から独立した機関として設置され、意思決定を行う3人の検査官から成る検査官会議と、検査を実施する事務総局で組織されている。
4. カジノ管理委員会は、特定複合観光施設区域整備法(IR整備法)に基づき、審議会として2020年に財務省に設置された組織であり、カジノ施設の設置及び運営に関する秩序の維持及び安全の確保を図ることをその任務としている。他に、このような審議会と呼ばれる組織の例として、国家公安委員会や公害等調整委員会などが挙げられる。
5. デジタル庁は、2021年にデジタル改革関連法に基づき、国土交通省に設置された組織である。組織の長はデジタル大臣とされ、同庁には、各府省の事務次官に相当する事務方トップの「デジタル審議官」が置かれている。デジタル庁は、デジタル社会形成の司令塔として、各府省に対する勧告権を有するほか、国の情報システムに関する予算を同庁予算に一括計上している。

【No. 24】 我が国の戦後政治史に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 1955年、自由党と日本進歩党による保守合同が行われ、自由民主党が結成された。一方、日本社会党は、同年に日米安全保障条約に対する賛否をめぐって分裂し、その一部が民社党を結成した。この結果、日本社会党が国会で占める議席数は自由民主党の半分程度となり、その後は55年体制と呼ばれる政権交代の可能性が極めて低い一党優位が続いた。
2. 1980年代前半、財政赤字と国債の累積が大きな問題となっていた。「戦後政治の総決算」を唱えた中曽根康弘内閣は、赤字国債依存からの脱却を目指し行財政改革を推進し、日本電信電話公社(電電公社)、日本専売公社、日本国有鉄道(国鉄)という三つの公社の民営化を進め、それぞれNTT、JT、JRグループに改組した。
3. 1990年代前半に、消費税導入を争点として自由民主党の一部が分裂し、新党が結成された。その直後に行われた衆議院議員総選挙の結果、自由民主党や新党さきがけなどによる細川護熙を首班とした連立政権が誕生した。細川内閣は、消費税法のほか、国際平和協力法(PKO法)を成立させた。
4. 第二次世界大戦後、我が国の選挙制度について様々な改正が行われた。衆議院議員総選挙では、1選挙区2～15名の議員が選出される中選挙区制が長く採用されていたが、1990年代前半から小選挙区比例代表制が採用され、比例代表では非拘束名簿方式が採用された。また、2000年代後半に、選挙権年齢は20歳以上から18歳以上に引き下げられた。
5. 1990年代後半、橋本龍太郎内閣は、地方分権の推進策の一環として、地方公共団体が財政面で自立した運営を行えるように、補助金の削減、財政出動、成長戦略の三つから成る「三位一体の改革」を行った。この結果、多くの地方公共団体において、地方債の発行額は減少し、財政面での改善が実現した。

【No. 25】 政治体制・経済体制等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 国王を中心とした強力な統治体制である絶対王政の下で、イギリスのジェームズ1世は、王権神授説を唱えて議会を軽視したため、議会は、権利の章典を定め、ジェームズ1世を処刑した。これは、ピューリタン革命といわれ、イギリスのホブズはこの革命を理論的に擁護したとされる。
2. 国家の権力を複数の機関に分散させ、それぞれを独立させ、互いに抑制し、均衡を保つという考え方を権力分立という。ロックは、国家の権力を立法権と執行権・外交権に分離し、立法権優位の制度とすることを提案した。一方、モンテスキューは、国家の権力を立法・行政・司法の三つに分け、それぞれを異なる機関に担当させる三権分立制を説いた。
3. 第二次世界大戦後に、毛沢東により中国共産党が結成され、社会主義国である中華人民共和国が成立した。同国では、中国共産党内に設置された全国人民代表大会(全人代)が国家権力の最高機関であると憲法で規定され、同大会は年2回開催される。また、全人代の常設機関である国務院が法令の制定、法律の解釈など広範な権限を有している。
4. ケインズは、社会保障などの政府支出削減や、国営企業の民営化に重点を置く有効需要の原理を提唱し、この原理は、1920年代に行われたアメリカのニューディール政策に取り入れられた。また、フリードマンは、企業が新しい技術発明を導入し、新たな製品の開発や市場の開発を行うことをイノベーションと呼び、経済発展に大きな役割を果たす要因であると説いた。
5. リカードは、土地などの生産手段の国有化や計画経済により、資本と労働力が計画的に分配されるべきであると説いた。こうした考えの下、ソ連崩壊後のロシアは、経済特区の設定や株式制度の導入を図るなど、社会主義市場経済を推進している。また、ベトナムは、1980年代後半に改革開放政策を推進した結果、急速に経済発展を遂げた。

【No. 26】 次のA～Eのうち、国内総生産(GDP)に含まれるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

A：政府が民間企業から土地を取得した際の、その土地の代金

B：所有していた中古のCDを知人に譲った際に受け取った、そのCDの代金

C：保有している株式の評価額が上昇した際の、評価額の上昇分

D：民間企業により派遣されるベビーシッターを利用した際に支払った、その利用料

E：銀行振込を行った際に発生した、事務手数料

1. A、B
2. A、C
3. B、D
4. C、E
5. D、E

【No. 27】 我が国の中小企業や農業等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 産業構造の高度化に伴い、我が国の農業就業人口は、2021年時点で、全就業人口の約0.3%にまで低下した。また、農業就業者の90%以上が65歳以上と高齢化が進み、後継者不足が深刻化している。こうした中、1960年代に80%あった食料自給率(カロリーベース)は、近年は10%前後で推移しており、安定的な食料供給の観点から、その向上が課題となっている。
2. 国際化と自由貿易の流れを受け、我が国は、これまで様々な国や地域との間でNAFTAなどの経済連携協定を締結し、貿易や投資の自由化・円滑化を推進している。こうした中、国内農業への影響が懸念されており、第1次産業である農業を、第2次産業の流通・販売や第3次産業の加工と一体化させ、「6次産業化」を目指す動きも広がっている。
3. 中小企業は、2016年時点で、企業数で企業全体の約70%、従業者数で従業者全体の約50%を占めており、中小企業基本法において、製造業の場合には、資本金5億円以下又は従業員500人以下の企業が中小企業と定義されている。中小企業は、大企業と比べて資本装備率が高く、大企業との間に労働生産性や賃金、労働条件において大きな格差があり、この格差は日本経済の二重構造と呼ばれてきた。
4. 中小企業の中には、大企業にはない独自の製品や産業技術を開発し、国内外の特許が切れた製品などを扱うニッチ市場へ進出する企業も増えている。また、中小企業は、地域で生産された商品を地域で消費する取組である、コンツェルンの主要な担い手として、各地方公共団体と連携して雇用を創出し、経済の活性化に貢献している。
5. 中小企業と大企業との格差是正を目的として、1960年代に中小企業基本法が制定され、1990年代後半の同法の改正では、ベンチャービジネスの育成など、中小企業の創業を支援する方針が打ち出された。また、2000年代には会社法が制定され、最低資本金の制限がなくなり起業しやすくなるなど、起業家を支える制度が整備された。

【No. 28】 金融に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 日本銀行は、物価を安定させ経済の安定化を図るため、金融調節を実施する。金融調節の基本方針は、日本銀行の最高意思決定機関である日本銀行政策委員会により、半年に1回開催される金融政策決定会合で決定される。同委員会は、総裁1名・副総裁2名に財務大臣と経済財政政策担当大臣を加えた5名で構成され、議決方法はその5名による多数決となっている。同委員会メンバーの全員が必要と認める場合には、臨時に金融政策決定会合を開催することができる。
2. 金融政策の方針を表す金利は政策金利と呼ばれる。現在の我が国の政策金利は、金融機関どうしで短期間の資金の融通を行い、この過不足を調整するコール市場における代表的な金利である無担保コールレートである。日本銀行は、この金利の誘導目標を定め、金融緩和時には市場に資金を供給するための買いオペレーションを行い、金融引締め時には市場の資金を吸収するための売りオペレーションを行う。
3. より豊かな老後生活を送るための資産形成方法として、我が国ではiDeCo(個人型確定拠出年金)が導入されている。日本版401k(確定拠出年金)の一種であるiDeCoでは、運用益への課税が行われる一方で、元本が確保され、加入者が60歳になる以前に掛け金とその運用益をいつでも引き出すことができる点が特徴である。2022年の制度改正により、iDeCoへの加入要件が緩和され、60歳以上の会社員・公務員や15歳以上の未成年者の加入が可能となった。
4. 外国との取引は、一般に、現金ではなく外国為替と呼ばれる方法によって決済され、そこで適用される通貨の交換比率は為替レートと呼ばれる。為替レートは、短期的には自国通貨と外国通貨の購買力が等しくなる水準で定まるが、長期的には米国と各国の中央銀行との間で合意された水準に収束する。一般に、外国から自国の株式への投資が増加した場合、自国通貨の需要が減少するため、自国通貨安となる。
5. 為替介入の目的は、為替レートの安定化であることから、為替レートが一定である固定相場制度を採用する多くの国においては、通貨当局が為替市場に介入することは禁止されている。一方、我が国のように変動相場制度を採用している国においては、為替レートの急激な変動を避けるため、為替介入が日常的に行われており、急激な円高・ドル安が進んでいるときに、これを避けようとするならば円買い・ドル売り介入を行うことになる。

【No. 29】 西洋近代思想に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 実存主義の先駆者であるキルケゴールは、真実の自分の在り方を実存と呼び、美的実存、宗教的実存、倫理的実存の三つの段階を経ることで実存は深まっていくと考えた。第三段階である倫理的実存において、「あれか、これか」を決断して享楽を捨て、自己の良心に従って義務を果たそうとすることで、人間はかけがえのない独自の存在としての本来的自己を回復するとし、これを体現した者を超人と呼んだ。
2. プラグマティズムを提唱したハイデッガーは、観念が持つ意味は、行為ではなく思考によって決まり、観念が真理であるかどうかは、それが有用であるか否かで判断されると考え、真理の有用性を主張した。こうした考えを発展させ、プラグマティズムを他の領域に拡大したジェームズは、知性は環境によりよく適応していくための道具であるとして、「道具としての知性」の価値を強調し、道具主義の立場をとった。
3. 精神分析学を創始したフロイトは、人間の心の働きをエス(イド)・自我・超自我の三層の関わりから説明した。人間を理解する上で重要なのは無意識の欲望であると説き、性的衝動(エロス)だけでなく、自己破壊衝動(タナトス)も人間の根本的な衝動であるとみなした。また、ユングは、心には個人の体験に基づく個人的無意識のほかにも人類に共通する集合的無意識があり、そこにはアニマやアニムスなどの元型があると説いた。
4. 言語哲学者のウィトゲンシュタインは、個人の会話という行為(パロール)は、属する文法的な構造(ラング)の中で関係付けられて初めて意味を持つと説いた。彼は、最初の著書『論理哲学論考』の中で、人間の言語活動を言語ゲームと捉え、相互交流の中で日常生活に織り込まれた暗黙のルールを学ぶことで言語が成り立つとした。しかし、後に立場を変え、言語は世界を写し出すものであり、神や道徳などの目に見えない存在を言葉で表現しようと試みるべきだと主張した。
5. 構造主義の考え方を神話や未開社会の研究に当てはめたフーコーは、人間の知を支配する言語活動の集合体を「野生の思考」と呼んだ。また、言葉はその時代の権力と結び付き、権力が生み出す抑圧や差別を内に含んでいるとし、そうした言葉を通して、知性には人間の思考や行為を支配する規律の権力が結び付いていると考えた。そして、規律の権力に自ら服従するものを「狂気」と呼び、これを排除する必要があるとして西洋の理性中心主義の見方を批判した。

【No. 30】 高度情報社会に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. Society5.0は、いつでも、誰でも、どこにいても、様々な情報を受信、発信することができる社会と定義され、工業社会に続く情報社会として提唱されている。Society5.0においては、中央管理者を置いてデータを集約するweb3.0が推進されており、これによって一般の利用者が様々な情報を受信、発信することができる社会の構築が進められている。
2. 情報通信技術の利用における先進国と発展途上国との格差をリープフロッグと呼ぶのに対し、国内における年齢や地域、所得等の違いによる個人間での格差をデジタルデバイドと呼ぶ。デジタルデバイドを解消するための施策の一つとして、高齢者世帯にタブレット端末を配布し、高齢者の安否確認や在宅医療支援等を行うPOSシステムがある。
3. 情報リテラシーとは、情報の取扱いに関して、組織の方針や行動指針がまとめられたものであり、情報の機密性(Confidentiality)、完全性(Integrity)、可用性(Availability)を維持するために規定される。情報化の進展に伴い情報リテラシーの重要性は高まっており、組織の情報リテラシーの国際的な規格がIEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)によって標準化されている。
4. 情報操作とは、SNS等のプラットフォームサービスにおいて、パーソナライズされた自分の好み以外の情報が自動的にはじかれてしまうといった技術的な特性をいう。また、一般の利用者によって発信や拡散が行われた偽情報を含むウェブサイトをダークウェブといい、これらがインターネット上において偽情報を顕在化させる一因となっている。
5. 警察庁によると、我が国のサイバー犯罪の検挙件数は平成15年以降増加傾向にあり、令和3年には、ランサムウェアによる被害が拡大したことが確認されている。ランサムウェアとは、感染すると端末等に保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを復号する対価として金銭等を要求する不正プログラムをいう。

CP-2023 基礎能力 I

正答番号表

No	正答	No	正答	No	正答
1	1	11	5	21	4
2	2	12	1	22	2
3	1	13	3	23	5
4	3	14	5	24	4
5	3	15	4		
6	5	16	4		
7	4	17	3		
8	3	18	5		
9	2	19	1		
10	4	20	2		

CP-2023 基礎能力 II

正答番号表

No	正答	No	正答	No	正答
1	5	11	4	21	4
2	1	12	5	22	4
3	3	13	4	23	3
4	2	14	4	24	2
5	2	15	1	25	2
6	1	16	3	26	5
7	3	17	3	27	5
8	1	18	4	28	2
9	3	19	1	29	3
10	2	20	1	30	5